

令和7年度 第1回能代山本定住自立圏共生ビジョン懇談会の概要

○日 時 令和7年8月27日（水）午後1時55分～3時00分

○場 所 能代市中央公民館第5研修室

○案 件

（1）次期共生ビジョンの策定及びスケジュールについて

※委員からの意見等なし

（2）次期共生ビジョンのたたき台について

分 野	意 見	対 応
圏域の将来像	圏域の将来像の項目として福祉分野や教育分野に関する行政関係の共同体の設立等の記載が必要ではないか。	ビジョンへの位置づけは、難しい面もあるが、いずれ将来的な課題のため問題意識を持って取組ながら、ビジョンの中で将来的に影響を及ぼすような数値を注視していくなど、各町の担当と協議・検討していきたい。
福祉	能代市は、広域の長寿園廃止に伴い、特養を民営で整備する方針だが、藤里町、三種町、八峰町における特養の経営は厳しくなっている。この分野の行政関係者の共同体をこの5年の間で設立し、会合はできないか。	高齢者施策の関係で、かつては広域で特養を整備したが、介護保険法改正により民間においても介護保険事業所を運営できるようになり、グループホームをはじめとする様々な形態の事業者が増えてきた。今後は高齢者の減少や介護人材不足により、事業縮小の流れが可能性としては考えられる。これらについては、各市町の介護保険事業計画の中で必要なサービス量を掲げているので、各市町の実情について意見を伺いながら、アプローチの整理が必要。
	先日、全県の社会福祉法人の会長会議があり、介護事業所の事業縮小や小規模介護事業所の淘汰が進むと話があった。民間は赤字になったら撤退できるが、社会福祉法人は簡単には解散できず、最後の砦となる。そのた	このような新たな課題についてどのようなことができるか、意見を参考に検討していきたい。

	め、結論を出すものではないが、圏域の問題について、行政の計画が正しく進んでいるのかを検証する、行政関係者の懇談の場が必要ではないかと考える。	
教育	こどもが少なくなる中、市町村単独での小中学校は、成り立つのだろうか。旧飯田川町、旧昭和町が設置していた羽城中学校組合のような取組を将来的には考えていく機会があってもよいのではないかと考える。	各市町の教育委員会において議論・検討が進み、既に着手している部分もあり、更に集約していくというのは難しいが、将来的には、そのようなことも考えていかなければならない。
	学校についても同じく行政関係者の懇談の場が必要ではないかと考える。例えば、ビジョンの中で、KPI は来年度研修会を、その次の年に懇談会開催を目標とすることで、人口減少に対する危機感として対外的なアピールとなると思う。	このような新たな課題についてどのようなことができるか、意見を参考に検討していきたい。
	小中学校の件に関連して、先日、八峰町の学校等再編検討委員会に出席し、5、6年度の八峰町の出生数は1桁と説明を受けた。小中学校の再編を進めていく協議の場で、十数年後の八峰町の中学校生徒数は、子育て世帯の転入がない限り1学年7～8人になってしまうため、能代市の中学校との統合や委託等が必要ではないかと発言したところ、大きな非難にあった。町長や教育委員会は、小中学校を残す姿勢であり、保護者の意見も様々である。このような中、広域圏で先行して懇談会を設置していくことは困難であり、まだ早いと思う。	※意見として伺った。
道路等の維持管理の連携	道路及び道路構造物の効率的な維持管理のKPIについて、どのような目標値設定を考えている	維持管理した面積（㎡）を目標値として設定できないか検討している。

	か。	
産業振興	外国人材受入共生事業の件について、関係市町に八峰町の記載はないが、実施しないのか。	八峰町での実施予定はない。
	我々が関わる観光分野は、人口減少しても入込客数は、やり方次第では増やすことはできるので、内容を詰めて対応していきたいと考えている。 入込客数は、1人単位まで記載されており、様々な算出方法があると思うが、現実的な数値等をKPIの目標値として設定いただきたい。	入込客数はイベントを絞っており、全てのイベントにおける入込客数ではないが、目安になると考えている。
	例えば、天空の不夜城の入込客数は、どのように算出しているのか。 サンドクラフトでは、現実とかけ離れた数字とならないよう、一つの指標として駐車台数などから入込客数を算出している。	例えば、道の駅ふたついででは、入口のカウンターで算出している。天空の不夜城は、主催者発表で把握している。
地域公共交通	三種町のバスや秋北バスの運行が見直されており、能代市外だと生活が難しくなるのではないかと感じている。	※意見として伺った。
その他	KPIの基準年度は統一できないのか。	KPIに用いる数値には、翌年度以降に公表されるものもあり、出来るだけ最新の数値を用いているが、それが4年度や5年度となっている。扱う統計指標により基準年度が異なることは、やむを得ないものと考えている。
	KPIの基準年度の数値が空欄となっている箇所がある。その理由は。	統計数値未公表等のため空欄としている。公表等され次第、お示ししたい。

	<p>KPI には、毎年公表されない数値もあると考えてよいか。</p>	<p>2～3 年おきに公表される数値もある。この数値でよいのかということもあるので、他に適切な数値があれば見直すことも検討していきたい。</p>
--	-------------------------------------	--